

令和3年 9月定例会

福井県議会だより

第34号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

9月定例会は、9月6日に開会し、10月6日までの31日間にわたって審議を行いました。

開会日には、新型コロナウイルス感染症等により、議長または副議長が欠席となる場合に備え、会期中の仮議長の選任について議長への委任を決定しました。

今定例会では、コロナ対策についての議論が中心となり、第5波による県内経済への影響と今後の消費・観光需要喚起策、第6波に備えた医療提供体制の整備や自宅療養者が発生した場合の対応等について質疑がなされました。また、北陸新幹線関連への対応については、敦賀・新大阪間の開業時期の見通し、特急存続に代わる利便性確保策、並行在来線経営計画(案)に示された利用促進策や沿線市町の負担軽減、地域鉄道を含む公共交通体系の在

り方などについて活発な議論が交わされました。

このほか、エネルギー基本計画(案)の評価、核燃料税の活用状況、北陸新幹線開業に向けたまちづくり、いちほまれの販売戦略、土砂災害対策、教職員の働き方改革など県政全般にわたり広範な議論を行いました。

このような審議を経て、閉会日には、9月補正予算案など16議案と、追加上程された教育委員会、人事委員会、公安委員会の各委員の選任、任命の同意に係る4議案の計20議案を可決、承認または同意し、決算認定に係る2議案を12月定例会までの継続審査としました。また、「台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書案」を可決するとともに、請願1件についても採決を行い、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

本県出身大学生との意見交換会を開催しました

県議会広報会議では広報広聴活動の一環として、さまざまな分野で活躍されている県民の皆さんとの意見交換会を行っています。

今回は9月2日に、オンラインによるweb会議方式により、首都圏や関西圏に進学された本県出身の大学生の皆さんから、県外から見た本県の観光の魅力や福井県へのUターン就職などについてご意見を伺いましたので、ご紹介します。

なお、詳しい内容は福井県議会ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。



意見交換会の写真

【出席者】

県議会議員 広報委員

田中 宏典会長、力野 豊委員、

田中 三津彦委員、松崎 雄城委員

本県出身大学生4名

◎県外から見た本県の観光の魅力について

委員：県外から見た福井県の観光の魅力や県外の方が福井県へ行ってみたいくなるような仕掛けづくりについて、皆さんの考えを聞かせてください。

大学生：福井県には、年縞博物館や恐竜博物館など、その土地の文化に根ざした魅力的な観光施設が多いと思います。その一方で、それぞれが離れているので、観光施設や観光スポットを合わせた観光エリアとして魅力を出せるといいと思います。

大学生：県外に出てみて、福井県の食べ物、特に海産物がすごく新鮮で、大きな魅力だと感じました。福井に住んでいる時は当たり前には食べていましたが、すごく貴重なことだと気付きました。

大学生：東尋坊など私たち福井県民になじみの場所で新鮮味がないように感じるころも、県外の人には訪れて満足する魅力的な観光地なんだと改めて実感しました。

大学生：「恐竜といえば福井」というと驚かれますが、福井駅前の動く恐竜モニュメントや駅舎を見せると関心を示されることから、県外の学生には目に留まる1つのポイントだと思います。

◎Uターン就職について

委員：就職を考えるに当たり、福井県へのUターンについてどのように考えていますか。

大学生：コロナ禍の中で、今後どのような生活がしたいのかを見つめ直し、Uターンすることに決めました。自分が生まれ育った地域であり住みやすいと感じていることありますが、教育環境の良さや「住みよさランキング」が高いことにも魅力を感じています。

大学生：都会のワクワク感に惹かれて県外の大学に進学し、就職に当たっても、やはり商業施設や交通の利便性、都会との連絡がいいことが魅力でUターンはしないことに決めました。ただ、将来、ゆっくりと過ごす時間ができたときには、また福井で暮らしたいという思いが出てくるのではないかと思います。



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

県会自民党 松田 泰典 議員



知事の政治姿勢について

- ・新型コロナウイルス感染症対策について、第5波における県内の感染状況や保健所の業務体制、医療提供体制の状況をどのように認識しているのか伺うとともに、感染者の療養方針など、今後の対応方針について伺う。

原子力・エネルギー行政について

- ・エネルギー基本計画の見直しについて、これまで知事が指摘し、求めてきたことが計画案に反映されていると考えているのか、第6次エネルギー基本計画案に対する知事の評価を伺う。

県会自民党 島田 欽一 議員



観光行政について

- ・JR小浜線、越美北線の減便を受け、今後JR西日本とともにどのような観光誘客策を検討していくのか、知事の所見を伺う。

農林水産行政について

- ・米の在庫状況について、県産米の現在の在庫状況を伺うとともに、現状に対する県の認識と今後の販売促進策について、所見を伺う。

民主・みらい 野田 哲生 議員



知事の政治姿勢について

- ・知事は9月補正予算を編成するに当たり、経済団体や農林水産業者等と意見交換を行っているが、県内の経済情勢をどのように認識しているのか、また、事業者の声を今回の予算にどう反映したのか、所見を伺う。

福祉行政について

- ・難病患者と家族への支援について、難病の患者に寄り添い、医療費支援だけでなく、家庭の生活や子どもたちの学業・進学への支援を充実すべきと考えるが、所見を伺う。

一般質問

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・アルバイトをせざるを得ない高校生の現状（高校生県議会を通じて）
- ・データに基づく政策の推進

福井の全ての子供たちが必要な教育を受けられるよう制度改善に尽くします。

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・障がい者福祉
- ・災害対策

軽度障がい者の働く場、重度障がい者の生活の場を、確保するよう取組みます。

民主・みらい 辻 一憲 議員



- ・天然記念物カモシカ保護と対応
- ・年縞博物館の誘客と研究
- ・外国籍児童・定時制・特別支援学校
- ・重度障がい児・者入所調整と入浴支援
- ・難病患者・要支援者の広域避難

原発事故時の難病患者や要支援者の広域避難の改善に取り組んでいます。

県会自民党 小寺 惣吉 議員



- ・坂井市竹田地区の観光振興
- ・県産材の需要拡大
- ・農産物の販路拡大
- ・治山ダム

・坂井市竹田地区の観光振興について
・県産材の販売量を増やす目標とは？

一般質問

無所属 細川 かをり 議員



- ・北陸新幹線開業に向けた準備
(1)マリオットホテルに対し
(2)越前たけふ駅前開発
- ・コロナ対策をみて思うこと

越前たけふ駅前周辺開発が、丹南地域発展に繋がる事を願っての質問でした。

県会自民党 山本 建 議員



- ・福井県並行在来線経営計画と既存駅の利便性
- ・PPAモデルによる県有施設の再生可能エネルギー導入
- ・自転車の安全利用
- ・丹南地域の県立学校再編整備
- ・中高一貫教育

県民の皆様の代弁者としてがんばります！

県会自民党 畑 孝幸 議員



- ・知事の政治姿勢
- ・災害復旧とインフラ整備
- ・人材育成
- ・儲かる農業

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・東京2020オリンピック・パラリンピック
- ・コロナ対策
- ・クマの出没対策
- ・県外事務所の体制

ワクチン2回接種後に向け、国の速やかな意思決定が必要です。

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・行政のデジタル化
- ・若者のU・Iターン施策
- ・農林水産資源の諸課題

デジタル化、若者対象の魅力向上、県産ブランド品のPR等を質問しました。

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・並行在来線の経営計画
- ・経済的に困窮する高校生への支援
- ・福井県DX推進事業
- ・今後の介護人材確保
- ・産育休の代替教員不足解消に向けて

並行在来線の経営計画、県のDX推進事業などを質疑しました。

公明党 西本 恵一 議員



- ・新型コロナウイルス対策
- ・高校教育
- ・建設産業支援
- ・専門家(土業)の行政参画

今後飲食店に時短営業を要請する事態に備えて、今回の影響を精査してほしい。

県会自民党 長田 光広 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・米食の推進
- ・新幹線開業に向けたまちづくり
- ・北陸新幹線
- ・災害への対応

100年に一度の好機。今やらねばならぬ。コト皆様と共に志高く頑張ります！

県会自民党 兼井 大 議員



- ・コロナ禍での婚活と経済活性化
- ・ふるさと納税
- ・子育て世代へのハラスメント対策

若い世代の皆さまの声を届けさせて頂きました。

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・コロナと衛生
- ・北陸本線第3セクターの課題
- ・原発廃炉時代
- ・米価下落で営農の危機。「インボイス増税」問題
- ・戦死者を二度殺すことは許されない

沖縄戦の戦死者の遺骨の混じった土砂を工事に使うことになぜ知事は反対しないの？

県会自民党 田中 宏典 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・原子力政策

国はこの先50年の原子力のあり方を具体的に示せ！

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・特別支援学校設置基準と寄宿舎指導員の状況
- ・医療現場の支援と今後の医療体制
- ・私立幼稚園等の医療的ケア児受入れへの支援

徹底現場主義の具現化のために、しっかりと現場を伝えていきます。



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

県会自民党 関孝治 議員



- ・北陸新幹線開業

2回も乗り換えて新幹線に乗り換えはし
ないと思う。検討を願う。

県会自民党 清水智信 議員



- ・並行在来線の新駅
- ・多機能複合型施設、県・市連携施設
- ・自伐型林業
- ・そばのブランド化
- ・荒川の治水

スポーツ・文化・コンベンションができる
複合施設を駅前（東公園）にと提言。

県会自民党 力野豊 議員



- ・地方創生
- ・農業政策
 - (1)将来の担い手、農業法人への委託
 - (2)新幹線延伸等に伴う建設発生土の活用
- ・嶺南地域振興

新幹線開業を地方創生のチャンスとし、
差別化で地域間競争に勝つ施策を！

県会自民党 西本正俊 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・原子力行政
- ・北陸新幹線敦賀以西
- ・公安行政

新幹線敦賀以西の取組状況と関西地域
の盛り上がり状況について知事に質した。

県会自民党 田中敏幸 議員



- ・原子力政策
- ・特急存続

地球温暖化抑止のために、小型高速炉
(SMR)の研究開発を福井の地で。

県会自民党 大森哲男 議員



- ・今後の新型コロナウイルス感染対策と経済支援策
- ・北陸新幹線、中部縦貫自動車道の開通の準備
- ・発達障がい者への福井型就労支援プロジェクト

感染対策と経済の更生、新幹線、中部縦
貫自動車道開通準備。今マッタナシ！

民主・みらい 西畑知佐代 議員



- ・県政全般

新たな法律等を踏まえ、県庁内、学校内
において絶対にパワハラは許さない。

県会自民党 仲倉典克 議員



- ・県政全般

新型コロナウイルス対策をはじめ並行在
来線経営計画について議論しました。

予算決算特別委員会では、長田光広議員、北川博規議員、田中三津彦議員、渡辺大輔議員、佐藤正雄議員、西本恵一議員、田中宏典議員も質問を行っています。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、審議の様子は、議会ホームページからYouTubeでご覧になれます。

訃報のお知らせ

去る9月26日に辻一憲議員がご逝去されました。

9月定例会閉会日には、本会議場で同じ会派の西畑知佐代議員による追悼演説と生前の功績をたたえる弔詞決議が行われ、鈴木宏紀議長からご遺族へ弔詞が贈呈されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。
HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

常任委員会

総務教育常任委員会

「福井県立学校設置条例の一部改正について」などの5議案について、審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、「地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願」について、不採択と決定しました。

所管事務の調査では、「県過疎地域持続的発展方針」における目標の確認や、子どもと向き合う時間を確保した教員の働き方改革等について質疑を行いました。このほか、「DXを活用した広報」、「並行在来線の経営計画」、「生徒の新型コロナワクチン接種」などについて議論しました。



AIチャットボット「県民くらしナビ」

厚生常任委員会

「県有財産の取得について（環境放射能データベースシステム関係）」、「県有財産の取得について（環境放射線測定装置関係）」の2議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「エネルギー基本計画」、「再生可能エネルギー」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「少子化対策」、「福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例」、「太陽光発電の廃棄物処理」、「看護師の確保」、「ヘルプマークの普及」などについて議論しました。



おはなしはマスクの啓発マーク

産業常任委員会

所管事務の調査において、いちほまれの販売状況、来年産の生産数量、PRなどについて質疑を行いました。このほか、「六呂師高原の活性化」、「インバウンド対策」、「移住定住の促進」、「ワクチンパスポートの活用」、「消費喚起策」、「アンテナショップの移転先、運営事業者の選定」、「内水面漁業」、「豚熱発生の養豚農家への支援」などについて議論しました。



いちほまれ販売の様子

土木警察常任委員会

「福井県公共下水道等の構造の基準等に関する条例の一部改正について」、「恐竜博物館建築工事請負契約の締結について」などの4議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「道路整備プログラム(案)」について調査を行うとともに、「大阪での児童虐待事案」、「特殊詐欺の被害阻止のための啓発活動」、「インターネット上での名誉毀損・誹謗中傷」、「道路へのハンプの設置」、「静岡県熱海市の土砂災害を受けた盛土の調査」、「7月29日の大雨災害対応」、「舞若道の建設残土処理」、「道路インフラの老朽化対策」などについて議論しました。



道路整備プログラムによる道路整備のイメージ



本委員会に付託された令和3年度福井県一般会計補正予算などの5議案について審査を行った結果、原案のとおり可決または承認しました。審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○コロナ対策について

今日までの対応についての総括と残された課題について認識をただしたのに対し、「徹底した積極的疫学調査などを行い、エビデンスを明らかにし、対策を実施してきた。今後は安心して経済活動や日常生活ができる環境を作っていく必要があると考えている」との回答がありました。

また、第6波に備えた医療提供体制の整備について考え方をただしたのに対し、「早期発見・早期治療を行い、重症化しない形で治療や診断が受けられる体制が必要だということで進めている。嶺南地域の新たな宿泊療養施設についても10月には稼働できる見込みである」との回答がありました。

○北陸新幹線について

敦賀・新大阪間の令和5年度当初の着工について、京都市の一部地権者の理解が得られていないため環境アセスメントの作業工程が遅れているとの報道があり、今秋ともされるルート公表が遅れるのではないかと懸念から、京都府の状況についてただしたのに対し、「早期全線開業に向けて、沿線の自治体が積極的に関わる必要がある。京都府を含めた関西地域全体が一致団結し協力していくことで申し合わせているところであり、1日も早い全線開業を目指して進めていきたいと考えている」との回答がありました。

○並行在来線について

並行在来線の経営計画案について、1日2万人の利用者を開業から11年間維持するという見通しは甘くないかとただしたのに対し、「増便や新駅設置など先事例で実績がある利用促進策を実施することとしており、地域に密着した県民鉄道として、また、本県を訪れる方の移動手段として定着を図ることにより、十分可能である」との回答がありました。

○地域鉄道の活性化について

福井鉄道、えちぜん鉄道、並行在来線といった複数の鉄道事業者があることから、将来を見据え早期に統合を目指すべきとただしたのに対し、「給与水準や労働環境など異なる課題もあり、経営統合については並存会社へのJR社員の出向が終わる10年後を目途に検討していく。このため令和元年度に設置した地域鉄道事業連携連絡会議において経営改善などの検討を進めていく」との回答がありました。

○原子力行政について

エネルギー基本計画改定案について、2030年の原子力比率20～22%の達成に向けた具体的な道筋が示されなかったことについて考え方をただしたのに対し、「2050年に向けて原子力の必要な規模を明確にした上で道筋を明確にしなければならない。新增設・リプレースをどうするのかといった考え方も含め、引き続き国に対して強くただしていきたい」との回答がありました。

また、原子力発電の方向性が明確に示されない限り、共創会議で議論されるべき立地地域の将来像や研究開発拠点としてのあり方が見いだせないのではないかとただしたのに対し、「原子力の将来の方向性については国がしっかりと議論し、その方針に基づいて立地として考えていくことが基本である。研究炉は、人材育成はもとより周辺産業の集積ができることが地域にとって大きなことであるので、声を上げていきたい」との回答がありました。

次に、原子力防災訓練について、より実効性を高めた訓練にしてほしいと考えるがどうかとただしたのに対し、「美浜地域の広域避難計画に基づいて、現地本部運営訓練や事前にシナリオを提示しない図上訓練などを行い、被災状況の共有、防護措置方針の決定など関係機関の連携強化を図っていく。また住民避難については、コロナ禍における避難所のスペースを確保する対策として、避難先の近隣市町にある避難所の追加的な活用やホテルへの避難、また福祉施設の受入れ対策として、実際にベッドを配置した生活上の支障の有無の確認、さらに外国人対策として実際に外国人の方に参加いただいて外国語による避難指示の伝達から避難完了までの手順を確認、こうした具体的な手順を検証し、実践的な訓練を行いたいと考えている」との回答がありました。委員からは、万が一事故が起こった場合に安全に避難できるよう訓練の実効性がキーワードになる。併せて住民への周知が重要であるので、住民に分かりやすく丁寧に周知を図っていただきたいとの意見が述べられました。

○その他

このほか、北陸新幹線開業に向けたまちづくり、児童生徒のタブレット端末活用、万引きや盗撮防止、発達障がい者への福井型就労支援プロジェクト、自伐型林業、パワハラの防止など広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をただしました。

特集 「ふくい高校生県議会」を開催しました

県政や県議会に対する理解を深めてもらうことを目的として、福井県議会、福井県、福井県教育委員会が共催し、8月4日(水)に、「ふくい高校生県議会」を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を絞った模擬委員会方式により実施し、応募があった9校から、抽選で決定した5校23名の高校生が参加しました。

開催に向けて

開催に先立ち、6～7月にかけて、各高校のチームを担当する議員が事前に高校を訪問し、高校生が日頃感じている疑問や直面している課題を聞き、その改善に向け、質問や提言のまとめ方についてアドバイスをを行いました。また、県議会や県議会議員の活動や、県の取組みに関して意見交換を行うなど、8月の本番に向けて準備を進めていきました。

チーム担当議員による高校訪問



啓新高校(7月2日)



丸岡高校(7月5日)

開催当日

高校ごとに5つのチームに分かれ、高校生が委員となり、担当部局との間で質疑を交わしました。高校の魅力化等の教育問題、再生可能エネルギーの促進等の環境問題、福井駅前のみちづくり、新幹線開業に合わせたイベント開催や県産品のPR、働きながら学ぶ高校生への支援など、身近な課題について、鋭い質問や、高校生ならではの視点での提案が相次ぎました。担当部局からは、提案を今後の施策の参考にしたいなどとの答弁がありました。

質疑の後、その内容を踏まえて提言書を作成し、担当部局へ提出しました。

模擬委員会の様子



道守高校



鯖江高校

提言書を提出



勝山高校

提案が実現

9月定例会においては、議員が高校生の意見等を代表質問や一般質問等で取り上げ、働きながら学ぶ高校生や、難病患者への支援等の実現に向けて、担当部局との間で質疑が繰り広げられました。

また、街なかで気軽にスポーツができる場所を望む提案がきっかけとなり、10月9日～11月7日に、商店街の広場で卓球ができる「街なかピンポン」が実現しました。

このように、普段から感じている疑問や課題について、高校生自らが提案し、実際に県の施策に結びつくなど、今回のふくい高校生県議会を通じて、議会への理解が進むとともに、社会問題や政治への意識が高まりました。

街なかピンポンの様子



「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見をさせていただきます。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

Facebook：https://www.facebook.com/fukuikengikai